

今月のテーマ

卒業



田上市長の 恋とトコ

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

卒業…と聞いて思い出すもの二つは映画です。

ダスティン・ホフマン主演の名作「卒業」を観たのは高校一年生の時でした。リバイバル上映でしたが、映画館は満員で、サイモン&ガーファンクルの曲と衝撃的なラストシーンに引きつけられたのを覚えています。

「卒業」という言葉には、誰しもを引きつける特別な力があるでしょう。だからこそ映画のタイトルになったのだと思います。

3月は卒業の季節。人生の節目であり、友や恩師との別れの時期でもあります。

私は毎年、小学校、中学校、そして唯一の市立高校である長崎商業高校の卒業式に出席します。卒業式はどの学校でも毎年あるのですが、毎回が特別で、新しく、一度きりで、かけがえない場所にいるのを感じます。

最近卒業式で歌う歌が以前とは変わってきているようですが、長崎商業高校では今も毎年、「仰げば尊し」を歌いま

す。ふだんは使わない古くて美しい言葉で綴られた歌詞は、だからこそ一生かかって心に沁みていく力を持っているような気がします。

仰げば尊し わが師の恩 教えの庭にも はや幾とせ 思えばいと疾し この年月 今こそ別れめ いざさらば

卒業生たちの歌声を聞きながら、少し甘酸っぱい気持ちになるのは、この歌の歌詞と卒業生たちの思いが重なっているのを感じるからだと思います。

学校で出会った仲間たちや先生方との別れ、そこでできたたくさんの思い出……さまざまな思いを胸いっぱい抱えて、終わりと始まりの時を経験している若者たちを応援したい気持ちでいっぱいになります。

3月は退職の時期ですが、退職も「卒業」と表現することがあります。

とはいっても、最近の60歳はとも若く、「あと余生」という感じではもちろんありません。

ん。

65歳からを高齢者と呼ぶのは1956(昭和31)年に国連が報告書を出してからだそうです。その頃の日本人の平均寿命は女性が68歳、男性が64歳ですから、「65歳が高齢者」という定義は納得がいきま

でも今は、女性の平均寿命が86歳、男性が80歳。65歳はまだ若く、現代の社会では社会を支えている世代です。退職によつて今の職場や立場を卒業、するとしても、ぜひ新たな場所や立場で活躍していただきたいと思えます。

若い世代の卒業も、退職という名の卒業も、人生の大きな区切りです。卒業されるみなさんのこれからの活躍を期待しています。



ながさき
フチ旅行

未来の名所
さくらのもり

出かけて見る・知るまちのオススメスポット

小ヶ倉中学校二年の榎原千聖(写真・右)と立川月です。今回、広報広聴課の職場体験で私たちの住むまちを取材しました！

「ダイヤランド入口」バス停から階段と坂を上ること5分。「さくらのもり」があります。右手側の斜面にはたくさんの桜が植えられていて、いろいろな種類の桜をひと家族1本ずつ植えたそうです。今はまだ幹は細く、小さい桜の木ですが、5年10年経ったとき、とてもきれいな桜を見ることができそうです！桜の他にも、花が植えられているので、桜が立派になるまではその花たちが盛り上げてくれるでしょう！

また、目の前には海はもちろん、造船所で建造中の船を見ることもできます。長崎らしい風景が望めます。ぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか！